



同じ場所に立って、違う景色を見る ～一年のスタートに寄せて～

本日、令和8年度の始業式を行い、新年度がスタートしました。

式では、3月の修了式で話した「自分の未来は、今日までの延長線上にある」をもとに、「同じ場所に立って、違う景色を見る」という話をしました。 ※以下、その一部を紹介します。

「1年後の今ごろも、多くの皆さんはまたこの場所に立っています。校舎も、教室も、大きくは変わらないでしょう。しかし、立っている自分は、同じではありません。成長とは、劇的に変わることはありません。同じ場所に立っているのに、景色の見え方が少し変わることです。

新3年生のみなさんにとって、この1年は特別です。1年後、みなさんは、この学校を卒業しています。今、ここに立っている自分は、確実に卒業後の自分につながっています。進路が決まっている人も、まだ何も見えていない人もいるかもしれません。不安があっても、迷っていても構いません。1年後の自分を思い描くとき、無理に「立派な姿」を想像しなくていい。「今日より、ほんの少し前にいる自分」それがイメージできれば十分です。

新2年生のみなさんは、この1年で学校の顔になります。後輩にとって、一番身近な先輩です。だからといって特別なことをする必要はありません。あいさつをする、自分の仕事に責任をもつ、困っている人を見過ごさないなど、日常の当たり前一つ一つが、1年後に自分が見る景色を変えていきます。

今日は、新しいスタートの日ですが、全員が同じ気持ちではありません。希望を抱く人もいれば、不安を抱えている人もいます。それでも、今日、この場所に立っていること、頑張って登校できたこと、それ自体が、すでに大切な一歩を踏み出しています。

今日からの1年は、未来の自分が、今の自分に感謝するための1年です。歩く速さは、人それぞれでいい。同じ場所に立ちながら、少しずつ違う景色を見る自分を、一緒に育てていきましょう。」

保護者の皆さま、本年度も学校と家庭が手を携え、「チーム山代」として子どもたちに寄り添いながら、共に学び、共に悩み、共に成長できればと考えております。

本年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

「ボランティアサークル」を新設しました

今年度から、ボランティアサークルを新設しました。支援や応援を必要とする個人や団体のために、協力できる範囲で、協力できることを届けていきたいと考えています。昨年度も多くの生徒が積極的にボランティア活動に参加し、各方面、多くの方々から賛辞をいただきました。また、ボランティア活動に参加した生徒の多くが、自己有用感・自尊感情を高めることができました。

「サークル」にすることで、子どもたちの主体的な活動につなげながら、地域社会の一員として、地域に貢献する心や態度を育成したいと考えております。 ※近日中にメンバー募集を行います。

校長室より 新2・3年生へ

始業式では、「1年先の延長線上に立つ自分の姿」をイメージできましたか？

あさっては新入生が入学してきます。自分が入学した時のことを思い出し、後輩のために何ができるか、少し考えてくれたら嬉しいです。皆さんには、「あんな2年生になりたい」「あんな3年生になりたい」と憧れられる、素敵で大人の対応ができる先輩になってほしいと期待しています。

令和8年度は、お互い成長の年にしていきましょ (^)/